

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和2年12月解析分)

1 今月のトピックス

広島県 感染症発生動向 検索

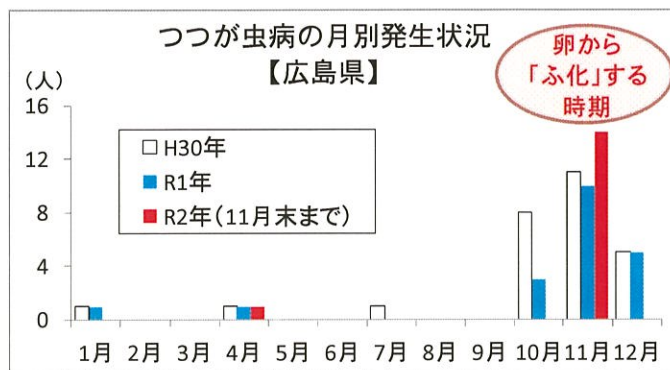
(1) 「つつが虫病」は、秋から初冬に集中して発生

つつが虫病は、リケッチア（細胞の中に寄生する細菌の仲間）を保有するツツガムシに刺されることで感染します。

ツツガムシは、卵からふ化した後の幼虫期にのみ人に吸着し組織液を吸うダニの一種で、西日本に生息するツツガムシの多くは、秋から初冬にかけて、ふ化するため、広島県においても例年、この時期に集中して患者の発生が見られます。

症状としては、刺されてから5～14日後に、倦怠感や頭痛、発熱などの症状が現れ、その後、顔面や体幹部に米粒大の紅斑が増えていきます。

つつが虫の予防には、刺されないことが大切です。ツツガムシは、田畑や山林に生息しているため、感染が流行する時期には山間部に立ち入らないこと、立ち入る際には、皮膚を露出しない服装をし、防虫スプレーを使用するなどの対策を行ってください。

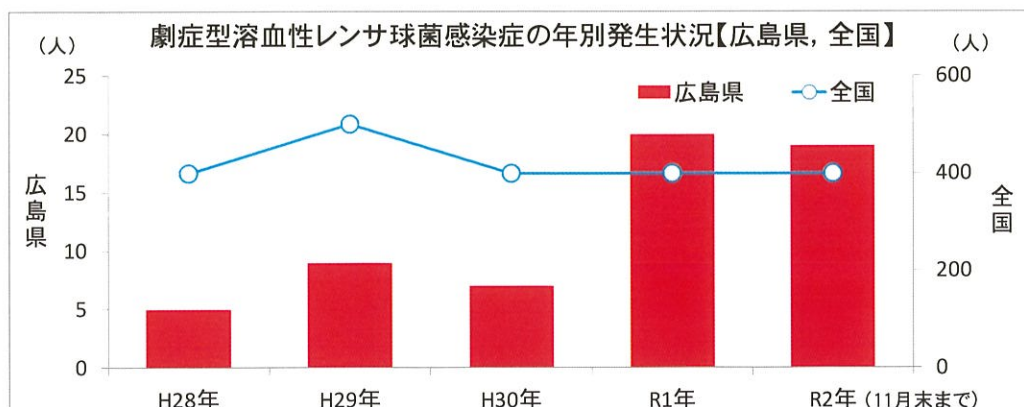


(2) 近年、「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が増加傾向

広島県内の劇症型溶血性レンサ球菌感染症の発生数は、昨年、過去と比べて大きく増加し、今年も11月末時点で昨年と同程度まで増えています。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、レンサ球菌による感染症です。レンサ球菌は感染しても無症状なことも多く、症状が出てもほとんどは咽頭炎や皮膚の感染症にとどまりますが、まれに血液、筋肉、肺などにレンサ球菌が侵入し、急激に症状が進行する重篤な疾患となることがあり、「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」と呼ばれています。

最初に手足の強い痛みがみられることが多く、続いて発熱や筋肉痛などのインフルエンザに似た症状が現れます。症状が進行すると、筋肉や脂肪における炎症、呼吸障害や意識障害が進行して死に至る場合もあります。

うがいや手洗いなどの一般的な感染症予防に努めるとともに、ケガをした際の傷口はよく洗い、消毒などを実施することで清潔に保ってください。



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和2年11月分(令和2年11月2日～令和2年12月6日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	
1	インフルエンザ	3	0.01	1.61		10	ヘルパンギーナ	136	0.38	0.11	◇
2	RSウイルス感染症	8	0.02	1.13		11	流行性耳下腺炎	12	0.03	0.45	↓
3	咽頭結膜熱	118	0.33	0.47	↗	12	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	190	0.53	2.17	→	13	流行性角結膜炎	31	0.33	0.92	↗
5	感染性胃腸炎	662	1.84	9.29	→	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
6	水痘	67	0.19	0.41	→	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	265	0.74	0.63	↗	16	マイコプラズマ肺炎	1	0.01	0.31	
8	伝染性紅斑	3	0.01	0.35		17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	117	0.33	0.33	◇	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.01	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和2年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	68	2.96	2.42	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	3.29	3.39	◇
20	性器ヘルペスウイルス感染症	25	1.09	0.89	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	0.19	0.38	
21	尖圭コンジローマ	6	0.26	0.60	↓	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
22	淋菌感染症	36	1.57	0.80	→						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 **なし**

○急減疾患 **流行性耳下腺炎 (0.10→0.03)**
尖圭コンジローマ (0.78→0.26)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患、月報対象7疾患)について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	31	結核(31)〔西部保健所(5), 東部保健所(4), 広島市保健所(8), 呉市保健所(2), 福山市保健所(10), 北部保健所(2)〕
三類	3	腸管出血性大腸菌(3)〔西部東保健所(1), 広島市保健所(2)〕
四類	22	つつが虫病(14)〔西部保健所(10), 広島市保健所(4)〕 レジオネラ症(6)〔西部保健所(2), 東部保健所(1), 広島市保健所(2), 呉市保健所(1)〕 日本紅斑熱(2)〔呉市保健所(2)〕 アメーバ赤痢(1)〔福山市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)〔東部保健所(2), 広島市保健所(1)〕 クワイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(1), 呉市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(1)〔福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(5)〔広島市保健所(4), 福山市保健所(1)〕 水痘(入院例)(1)〔西部保健所(1)〕 梅毒(16)〔東部保健所(1), 広島市保健所(7), 呉市保健所(1), 福山市保健所(7)〕 百日咳(2)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(1)〕
指定	209	新型コロナウイルス感染症(209)〔西部保健所(13), 東部保健所(9), 西部東保健所(5), 広島市保健所(156), 呉市保健所(1), 福山市保健所(25)〕